

第3回 議会報告会

平成22年10月7日～31日



開かれた議会を 目指して!



鷹栖町議会では、

10月7日から10月31日にかけて、5地区および1団体の計6会場において「第3回議会報告会」を開催しました。

会場には、昨年を上回る106名（前年度63名）の皆さまの参加があり、議会および行政に対して、多数の貴重なご意見やまちづくりに対する質問・提言をいただきました。

議会に対するご意見は会場でお答えをしましたが、行政に対する質問等は議会で行き届かず、町長に提出し回答を得ました。

本誌では、議会に関するものと、行政に関するもの（各所管課）に分類し、皆さまにお知らせいたします。

議会全般について

問 議員数が定数の12名より1名少ないが、なぜ補充しないのか。
 — 補欠選挙を行うための要件は公職選挙法（定数の6分の1を超える欠員）で決められており、当議会の定数だと3名以上の欠員が生じたときに行われます。

問 議員定数の削減について、議会では議論をしているのか。
 — 議員協議会での議論の結果、現段階では議員定数の削減は行わず予定はありません。

問 報酬のほかに、会議等の出席に対し日当はあつたのか。
 — 日当は支給されていません（費用弁償700円は平成17年に廃止）。

報告会について

問 議会報告会とまちづくり懇談会の違いはなにか。
 — この報告会は、町民の皆さんからは見えづらい議会活動などを知っていただくこと、皆さんの意見をまちづくりや議会活動に反映させることを目的としています。

問 参加人数が少ない。意義ある議会報告会にするための方法を考えてはどうか。また、PTAやその他の団体などに呼び掛け、団体ごと

に議会側からテーマを掲げて開催すれば、参加者が増えるのでは。
 — PRや議員による呼びかけが足りなかったことを反省しています。報告会の目的を達成するため、内容や開催の方法・時期・場所などを再考し、多くの皆さまが参加して意見をいただけるように工夫します。

問 「議会報告会」という名称が堅すぎて、参加しにくい。
 — 皆さんが参加しやすい名称や内容を考えていきます。

問 議員はまちづくりの先進地を見て、もっと勉強してほしい。また、研修費用は予算付けされているのか。
 — 先進地を視察して議会活動に生かしています。研修費は、当初予算に計上せずに計画を立てた後に補正予算で対応しています。また、自費での研修視察も行っています。



「有害鳥獣対策」の研修視察（沼田町）



問 本議会には職員が多数出席しているが、必要なのか。

— 全てのごとに町長が答えることは難しいので、定例会には全課長職、臨時会には担当の課長職のみが出席しています。



問 議員は鷹栖町の基幹産業である農業について、どのような活動をしているのか。

— 一般質問のほか、常任委員会や議案(事業や予算)審議などでも活発な議論をしています。

問 本議会や委員会・報告会をケーブルテレビなどで配信してはどうか。情報配信などに利用できるのでは。

— 大きな予算が必要になるが、インターネットやビデオ配信を庁舎・公民館などで視聴できる議会もあり、調査等を実施し検討しています。

問 議員年金が原資不足で、国の助成が必要と聞いたが、どのようなになっているのか。

— 市町村合併や議員定数の削減に伴い、議員数が激減したことで、財政が厳しい状況にあり、年金制度の見直しについて議論されています。



行政全般について



問 自然災害時に、住民に周知する地域連絡員の組織体制整備を。

— 地域防災計画では、住民への連絡や災害状況等の収集について、各関係団体のほかに町内会長・農事組合長に「地域情報連絡員」の位置づけをしています。今後、地域情報連絡員の役割を住民に周知徹底を図ります。

【企画課】

問 パレットヒルズは景観が良いので、高齢者向けの介護施設を建設してはどうか。

— 豊かな自然や農村環境を生かした鷹栖らしい定住対策を基本と考えていますが、パレットヒルズが適当な場所かどうかは十分な調査が必要と考えます。

問 パレットヒルズのパークゴルフ場が開設されて、丸山パークゴルフ場への入場者が減っているのではないのか。また、今後も続けるには施設整備が必要になると思うが方針はどうか。

— 丸山の入場者数は約41,700人、前年比8,800人の減です。入場者数は天

候に左右されたこともあり、今年の状況だけでは判断できません。
パレットヒルズのパークゴルフ場については16,000人の入場者数がありましたが、3年間の試行期間の状況を見て、パレットヒルズ全体の整備構想と合わせ、検討を進めます。



問 北野地区の警察団地の跡地利用はどうなっているのか。高齢者向け施設の建設はどうか。町民全体の問題として考えていくべきと思うが。

— 町では定住対策事業用地として取得を前向きに検討中で、年内には最終的な判断をする予定です。

問 常盤の里考える会を中心に旧北斗小学校の使用方法を検討していたが、まだ決まらない。旧第二中学校にある郷土資料を展示しては。

— 今年、建物の耐震診断しており、診断の結果、問題がなければ鷹栖共生会と具体的な検討を進めていく予定です。郷土資料館としての利用は考えていません。

問 協働のまちづくり推進事業(町民税1%)が有効に使われていないのでは。
— 協働のまちづくり分野では、新しい取

り組みも生まれ、一定の成果はあったと考えています。今後は活用事例の紹介や役場の各担当などからの働きかけをさらに進めます。

問 町内会が高齢化しているのが不安である。行政で何かできることはないのか。

— 町内会の組織再編は、これまで行政主導ではなく、地域の自主的な判断を支援する方法を進めてきました。即効性のある対策は難しいですが、行政の各分野の個別の取り組みを連動させ、地域と協働した地域づくり、まちづくりを進めていきます。

問 ふるさと創生事業基金はどうなったのか。

— 昭和63年と平成元年に国から交付された1億円を「ふるさと創生事業基金」に積み立て、小中学生の国内外交流事業とパレットヒルズ整備事業などに充てました。現在の残高は約670万円となっています。

問 鷹栖に移住したときにお米をいただきたいが、現在はどうか。また、鷹栖町に移住して歓迎されているのか。

— 転入者への米の贈呈事業は鷹栖町米麦改良協会の事業として、現在も継続しています。地域ぐるみで移住者を歓迎し支援するような仕組みを、行政と地域とが一体となって考えています。



⑩ 自動車がないと買い物などの移動に大変不便な地区があります。費用負担を多少してもいいので、週1度くらいバスを運行してほしい。



― 町営バスやスクールバス、老人送迎バスなど交通体系の見直しを進め、交通弱者への対策も考慮した公共交通網のあり方を検討していきます。

⑪ 空き家が目立つ。借家などとしての利用を考えるべき。

― 町では空き家情報を登録していただき移住希望者に紹介する「空き家バンク制度」を行っています。所有者の方からの登録希望が少なく、十分に機能していない状況ですが、定住対策の一環として再検討を進めます。

⑫ 北野地区の国営盤整備事業について、行政合併等による影響はないのか。

― 鷹栖町では現時点で合併は予定していません。もし合併があったとしても、事業に支障が生じる恐れはないと考えます。

【町民課】

⑬ 埋立てごみの減量化をもっと町民に説明してほしい。埋立地の利用はいつまでできるのか。また、古い埋立地からの雨水漏れが報道されたが、大丈夫なのか。

― 不燃ごみの減量を積極的に広報や折り込みチラシ、町内会の回覧等で周知していきたい。現在使用している埋立地は平成36年まで使用予定です。

また、埋立地の搬入口は嵩上げをし、表面

水が流出しないよう対処しました。

⑭ 生ごみバケツの臭いが落ちづらいのはなぜか。

― 素材自体に抗酸化加工がされていますが、長期間の使用で細かな傷が付き、臭いが落ちにくくなっている可能性もあります。消臭剤や食酢をかけた後、拭いても効果があるようです。

⑮ 生ごみバケツは当初、補助を受け1個500円で買いましたが、しかし、親から独立して他に世帯をかまえたときに補助を請求しましたが、1世帯に1個なので通常の1,900円で買ってほしいと言われました。新規世帯として補助が出るよう検討してほしい。

― 転居などで新規世帯となった方への配布については、引き換え券交付の目的を含め、新年度に向けて検討します。

⑯ 生ごみ堆肥はよいものなので、もっと町民に周知してほしい。

― 来年度に向けてPRをしていく考えです。異物混入防止も合わせて啓発していきます。

【保健福祉課】

⑰ 北斗地区住民センターの屋外遊具が数年間使用禁止のままです。撤去するか、使用できるようにしてほしい。

― 平成23年度に撤去します。



【農政課】

⑱ ヒグマ対策は、注意看板設置だけか。

― 2基の箱わなを設置していましたが、捕獲できませんでした。

⑲ エソシカ・アライグマなどの食害対策は。

― エソシカは北海道の緊急予算で58頭の駆除を計画しており、アライグマは箱わななどの駆除を実施しています。農作物に対する被害調査が行われていますので、協力をお願いします。

⑳ 「オオカミの桃」以外の特産品開発は考えていないのか。

― 農産加工グループ等により特産品開発を進めています。

㉑ 土作り・堆肥づくりの研究を。

― 農業技術センターを核に、J・A・普及センター等と協力し、検討していきたい。

㉒ もっと農業の担い手を支援する動きが必要だと思う。また、離農家屋や施設の貸付など、新規就農者への支援も考えてほしい。

― 担い手の確保は重要な課題であり、新規就農・後継者対策に取り組んでいます。今後事業内容については随時見直しを行い、後継者・担い手の育成に努めます。

㉓ 離農した農家の廃屋処理に、地域農業推進会議北斗支部では費用助成をしているが、町としても対策を考えてほしい。

― 北斗地区に限らず、全町的な課題であると思います。景観保全や防犯等の安全面からも、検討が必要と考えています。

㉔ 中山間事業とは何か。

― 国の補助制度で、農地(水田)の荒れ地を防ぐために、条件不利地の耕作しづらい傾斜地に対する補助事業です。



㉕ 農業の助成金にはどのようなものがあるのか。また、どのような手続きが必要か。わかりやすい資料があれば。

― 中山間事業、町独自事業など、さまざまな補助があります。事業の概要版を中山間協定参加者に配布しており、農政課にも備えています。

㉖ 新しく農業者になるためにはどのようにすれば良いのか。どこに相談すれば良いのか。

― 相談は農政課へお願いします。

◎新規作物への補助金は誰でも受けられるのか。また、町独自の補助はあるのか。
 — 農業者を対象とした新規作物への町独自の補助制度があります。

◎若い人が農家をやりたいと、トマトハウスの補助について相談したときに、ただ「難しい」と答えるのではなく、空きビニールハウス・土地などの情報を教えてくれるサービスやアドバイスがなぜできないのか。
 — 新規就農者として認められなければ農業はできないので補助は難しいです。

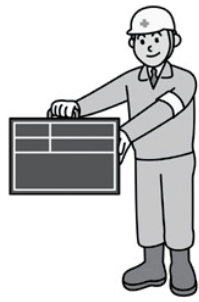
◎今後は、空き土地・空き施設などの情報を集め、行政も農協と協力しあい、情報交換していくことが必要だと思います。

◎ジューズ用原料トマトの生産量を上げるために、農家・非農家に関係なく作ってくれる人に対して、町独自で補助することはできないのか。
 — 非農家に対する補助制度はありません。契約トマト生産者に対しては、接木苗の助成を行っています。また、中山間協定参加者にはビニールハウスに対する助成を行っています。

【農業委員会】

◎農家の離農跡地に家を建てることはできないか。
 — 鷹栖町では、都市計画法により市街化区域、市街化調整区域、市街化調整区域外に土地利用が区分されています。

特に市街化調整区域内は、原則自由に建物を建てることはできませんが、例外もありますので、事前に建設水道課都市施設係にご相談ください。
 市街化調整区域外は、宅地であれば住宅を建築することは可能です。



【建設水道課】

◎町道11線道路改良工事(4号~2号間)について、残りの区間の工事はいつまでに完了するのか。
 — 本年度の工事で11線2号の交差点手前までの改良舗装を終わります。平成23年度には、交差点内の改良ならびに2号川の部分改修を実施する予定ですが、国の予算配分により年度が延びることも想定しています。

◎町内会で2分の1を負担している防犯灯の電気料について、もう少し何とかならないか。早めにLEDに変えてほしい。
 — 電気料については、現行2分の1の負担でご理解願います。次世代照明の設置は、町内会が主体で実施することになりますが、町としても予算を含め前向きな支援を検討します。

◎夜間、市街地は明るいですが、郊外の道路は街路灯が少なく防犯上好ましくない。
 — 郊外の街路灯を整備することは、事業費の問題から非常に難しいため、特に暗い部分など、要望があれば現地を確認し検討します。

◎河川や用水路の土砂崩れや土砂堆積への対策を。
 — 菊水川については、一部今年度着手します。ほかの箇所についても連絡があり次第、早い段階での対応を考えています。

◎道路工事を施工する際、どこまでの範囲の関係者に周知しているのか。
 — 道路改良に伴う事業説明については、説明会を実施しています。ただし、舗装による維持工事等については、説明会は行っていません。

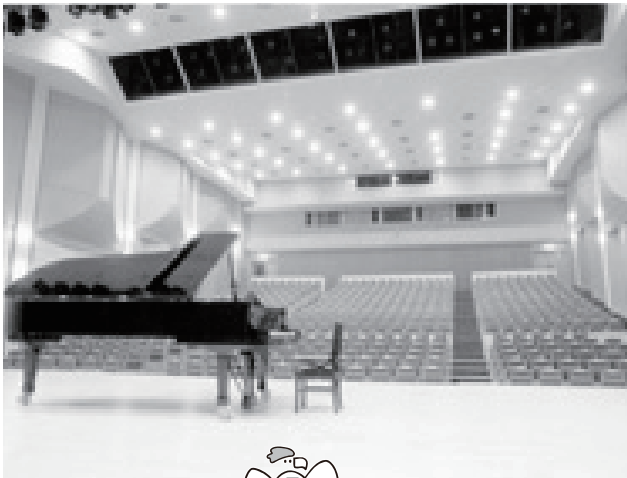
◎工事箇所が決定したら、早めに地先に連絡して要望を聞いてほしい。
 — 了解しました。

◎ロードヒーティングの助成を受けたが、道路の除雪された雪が解けなく使用できない。助成をしたら、その後の使用について意見を聞くべきではないか。
 — 使用に対する意見をいただき反映させるよう検討します(例：アンケートの実施等)。

◎ハイシユベツ川の河川管理者はどこか教えてほしい。東鷹栖側は雑木が大きくなって流速が遅くなり、災害時心配である。
 — 旭川建設管理部(旧旭川土現)の管理です。雑木の整理については、以前からほかの河川を含め要望を続けており、北海道の河川維持の予算の範囲で実施しています。

【生涯学習課】

◎メロディーホールの入口まで、福祉バスだけでも乗り入れを可能にしてほしい。また、石畳だと車椅子が転倒しやすい。
 — 公園整備計画の中で、石畳部分を舗装に改修する予定です。併せて、車両の乗り入れが可能か検討中です。



「農業振興公社」

問「オオカミの桃」の原料トマトを、定年退職者など新規に生産してもらうための、具体的な取り組みや募集方法はなにか。

—今年度は異常気象もあり、生産量は約31万リットルに減少しました。農家の空きビニールハウスを活用した栽培方法ができないか、検討していきます。

問「トマト生産者への支援体制は」

—過去には、ハウスなどの施設に対する支援や冷害見舞金などを実施しました。今後も接木苗購入に対する支援を検討しています。

問「原料単価を値上げして、生産量の確保に努めてはどうか。」

—来年度の原料トマトの買い入れ単価の値上げを検討しています。

問「新規に原料トマトを作る人は出てこないと思うので、町外の農業者にも生産してもらい、原料確保を目指しては」

—過去、取締役会で町外での生産について検討しましたが、「鷹栖町のオオカミの桃」としてのブランドを維持するため、町内生産としています。

問「ハネ品は加工しているのか。また、それをうまく使うことが大切だと思うが」

—ハネ品は、その保管方法が問題となります。過去にも使用方法について色々

な検討をしてきましたが、有効策はまだ確立されていません。今後の課題として研究していきます。

問「今年は早い時期から「オオカミの桃」が町内で買えない状況なので、販売方法を考えてほしい。また、店ごとに販売価格が違うのはなぜか。」

—製造量が激減しているのが最大の理由です。町内店舗への商品の流通は、Aコープ北野店のみ直接取引で、それ以外は特産品販売事業として商工会を経由して納品しています。納品先の販売単価を強要することは違法になるためできません。

問「オオカミの桃」の販売価格が値上がりしているが、上がった部分は生産者に還元されているのか。」

—卸売価格を値上げしたことにより得た金額以上を生産者に還元します。

問「振興公社の経営内容はどうなのか。経費の見直しや工場の暇な時期には栽培指導などの努力が必要ではないのか。」

—平成21年度の売上額は減少していますが、採算割れには至っていません。人件費や生産資材等の仕入れについても経費の削減に取り組んでいます。栽培指導については、契約により両農協が担当しているので、職員に対して専門教育は行っておりません。

問「公社のこうじ加工場を町民に開放しないのか。」

—農政課を通じて加工体験として、公社施設を利用して、こうじを製造することができません。



第3回議会報告会
出席者数

会 場	開催日	出席者数
北野地区住民センター	10/ 7木	37
北成地区住民センター	10/ 8金	17
プラザ・クロス10	10/12火	9
北斗地区住民センター	10/13水	11
中央地区住民センター	10/15金	20
朝市てくてくの会	10/31日	12
	合 計	106

みなさまの声
(出席者アンケートより)

初めての参加で、今回は社会見学のつもりで参加しました。見学の少なさに驚き。もっと人数の少ない人が参加できるといいのになあと思いました。

参集のしかたについて何か良いアイデアがあれば人がもっと集まるのでは？(内容を聞けば、結構聞き入りました)

報告会の目的である議会改革・活性化に向けた話題が出るような進行を望みたい。

出席者が少なくやや残念でしたが、もっと若い世代にも顔が見える議会・議員になってほしいですね。議会・議員の方々には大いに期待しております。

今回のように近い距離で話しやすい空気が良いです。ただ、地域の思いをもう少し理解してください。国とか道でのきまりはあっても、町独自の考え方やアイデアをもって適応してもらいたい。鷹栖らしさを!!是非、だして下さい。

小さなサークルで議員の方と話し合いの場が持てとても嬉しいですが、答えをすぐに出すのではなく、もう少し住民と会話をしてもらいたいです。会話のキャッチボール、楽しみにしています。

大変有意義な機会ですので、今後も継続していただきたいと存じます。



お礼のご挨拶

このたび、鷹栖町議会の議会改革・議会活性化の取り組みの一環として議会報告会を開催したところ、町民の皆さまにはご多忙にもかかわらず、多数のご参加を賜り心よりお礼申し上げます。

さらには、皆さまより貴重なご意見・ご提言・地域の課題を聞かせていただき、このことは本議会の機能を高め将来のまちづくりに向けて発展ある議論に役立ててまいります。

また、当日各会場において実施したアンケート調査においても、議会および行政に対して貴重なご意見・ご提言を多数いただきましたことに対しても、皆さまのご協力に心より感謝いたします。

今年は、町内5地区および1団体との報告会開催でしたが、参加した方より、もっと多くの町民が参加しやすいようにする議会の努力が足りないとのご意見が多く寄せられました。今後の課題として重く受け止めております。

この取り組みは、定例の開催ではありませんので、希望される団体・人数を問わず随時ご希望に応じて開くこととしていきますので、議会事務局までご連絡をお願いいたします。

今後も、議会の機能向上や情報公開をはじめ監視機能・政策提言の活動など、より開かれた議会を目指して議会改革に取り組んでまいりますので、皆さまのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げ、お礼のご挨拶といたします。

鷹栖町議会議長 青野 敏

平成23年1月1日 発行：鷹栖町議会議員会